

[禁止事項] **オートクレーブ (AC) 滅菌** / **洗浄器への投入** / **浸漬**

洗浄

SPモータードリルは流水での洗浄が可能ですが、以下の点についてご注意願います。(強アルカリ洗剤のご使用は避けてください)

● バッテリー接続部

本体のバッテリー接続部にも防水を施してありますが、流水の際は**水圧をかけない**でください。また、コネクタの凹部に水が残っている場合は、エアブローで吹き飛ばして下さい。

- この部分は、術中バッテリーが装着されているので殆ど汚れることが無く、アルコール等の拭き取りで十分です。
- 流水の際は、バッテリー装着をお勧めします。



● バッテリーパック

バッテリーパックの端子に水が掛かっても、電氣的にショートする事は無く、壊れる心配はありませんが、水の**拭き取りは十分に**お願いいたします。

- バッテリーの**残量確認ボタン**を押して緑のランプが点灯しましたら40%以上の残量があり、次のオペでは十分に使用出来ますので、再充電の必要はありません。



● 本体先端部

先端アタッチメントを流水する際は、**先端を下向き**にして行って下さい。先端アタッチメント部位より水が浸入すると、内部故障の原因となります。



● 洗浄後

流水洗浄後は、**拭き取り・乾燥**を十分に行って下さい。乾燥器に入れる場合には、**45°C以下**に設定をお願いいたします。また、この温度の設定が出来ない場合は、乾燥機に入れず、十分な拭き取りとエアブローなどで水分を吹き飛ばして頂きますようお願いいたします。

滅菌

バッテリーの充電残量を確認し、ドリル本体と共に滅菌ケースに入れ、**プラズマ滅菌**あるいは**EOG滅菌**を行って下さい。

頭蓋骨穿孔中、

貫通せずに途中で止まってしまうことを経験されていませんか？

これを避けるために、下記を試して頂きたいと思います。

🗨️ ディスポーザブル・パーフォレーター*の機能

* 当社製品ではありません。

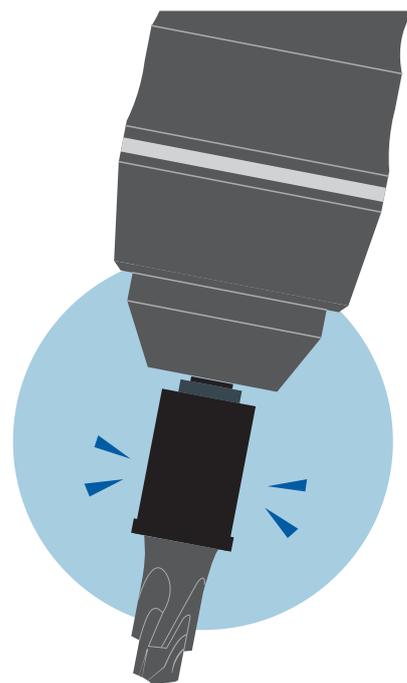
各病院で使用されているディスポーザブル・パーフォレーターは、頭蓋骨内板を貫いた時点で自動的に停止するクラッチ機構を備えています。

各社この機構は独自のものがあると思いますが、基本的には刃先と内部の回転シャフトが連結して、頭蓋骨を穿孔する事が可能となり、内板を貫いた時点でこの連結した部位が外れることで自動停止する(刃先が回らなくなる)機構になっている様です。

SPモータードリルを頭蓋骨上で回し始めると、刃先と内部の回転シャフトが連結する際に、十分に噛むと「カッソ」という感じで噛んで、少しドリル本体が沈む感じになります。

十分に噛ませるために、ゆっくり回転させてこの感じを掴んでからフル回転することをお薦めいたします。

この噛みが不十分な場合、クラッチの連結が甘い事になり、穿孔途中で停止する可能性があると考えております。



🗨️ SPモータードリル本体の押さえ方

本体の押さえが不十分な場合、穿孔途中で上記のクラッチが外れて穿孔できなくなることもあります。これはクラッチ機構のバネが常に外れる方向に力が働いているためです。

SPモータードリルは、今までご使用されている各社ハイスピードドリルシステムと形状が異なり、またハンドスイッチである事から使用感が変わり、押さえが不十分になることも想定されます。

安定的に力を加え易くするために、**一方の手でハンドスイッチを引き、もう一方の手をバッテリーの上に置いて押さえる持ち方**を推奨いたします。

